

目標達成計画

作成日：平成22年12月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時には同一敷地内のケアハウス及び特別養護老人ホーム職員と連携が図れるよう消防訓練を行っているが、消防団や地域住民との協力体制はできてない。	災害時に地元の消防団の協力を得ることができる。	・運営推進会議に消防団の方に参加してもらい情報交換をし現状を理解していく。・消防団の方に消防訓練に参加してもらい協力体制を整える。・会議に消防署員、駐在所の警察官に出席してもらえるよう働きかけ防災・防犯について話し合いができる。・食料・水の備蓄をする。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を年6回開催し、出席者にホームの取り組み状況の報告を行っているが、ご本人、ご家族の出席を得られていない。	ご本人、ご家族の出席を得て活発な意見や助言をもらえる会議にする。	・出席者が会議に出席しやすい曜日、時間を調べる。・会議等で出席者がどのような事に興味・関心を持っているか、常にアンテナを高くし興味が高いものは議題として取り上げていく。・行事に合わせ会議を開催する。・会議の名称を親しみやすいものにかえる。	12ヶ月
3	49	1日に1度は外に出る時間を設け、敷地内の散歩を行っている。また、時々、飲食店等にドライブでの外出が行われているが重度化したご利用者が多い棟もあり外出しにくい状況もある。外出の機会を作る必要がある。	個別の外出支援を2か月に2回は実施できる。	・棟会議でご利用者が外出できるよう話し合う。・ご利用者の体力・興味に配慮し外出する場所を選定していく。・ご利用者を小グループにわけて安全に外出支援を行う。・ご家族の協力を得て個別の外出ができるよう支援する。	12ヶ月
4	5	些細なことでも市担当者に相談し助言をもらっているが、さらに、市担当者との情報交換を行い運営に活かす必要がある。	市担当者が直接来荘する機会が得られる。	・市ととちぎ認知症介護研修センター(当ホームと併設)と連携し認知症サポート養成講座を開催する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。